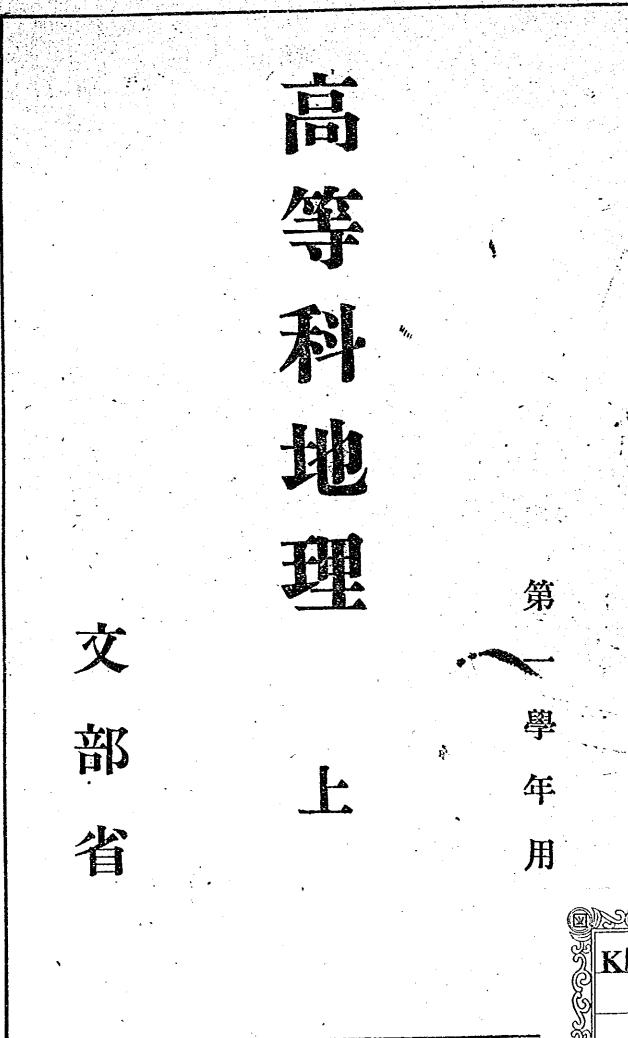


D5

298



# 資料修補紙貼

題  
目  
錄

- 一、北アメリカ
  - (1) アメリカ合衆国(米國) ..... 二
  - (2) カナダ ..... 二
  - (3) 南部地方 ..... 七
- 二、南アメリカ
  - (1) アンデス諸國 ..... 一〇
  - (2) アルゼンチンとその他 ..... 一三
  - (3) ブラジルとその他 ..... 一三
- 三、ヨーロッパ
  - (1) 東部ヨーロッパ ..... 一
  - (2) 中央ヨーロッパ ..... 一
  - (3) 西部ヨーロッパ ..... 一
  - (4) 南部ヨーロッパ ..... 一
  - (5) 北部ヨーロッパ ..... 一
- 四、アフリカ
  - (1) 北部アフリカ ..... 一
- 五、アジア
  - (1) 朝鮮 ..... 一
  - (2) 支那 ..... 一
  - (3) 印度支那半島 ..... 一
  - (4) マレー諸島 ..... 一
  - (5) 印度 ..... 一
  - (6) 西部アジヤ ..... 一
  - (7) シベリアとその他 ..... 一
- 六、大洋洲
  - (1) オーストラリア(澳洲) ..... 一
  - (2) ニューカレドニア ..... 一
  - (3) 太平洋諸島 ..... 一
- 七、兩極地方
  - (1) 北極地方 ..... 一
  - (2) 南極地方 ..... 一

## 一 北アメリカ

**地勢・海洋** 廣い太平洋を挟んでアジャ大陸と相對してゐる北アメリカは、面積に於いて世界第三位の大陸である。この大陸は北に廣く南にせばまり、地勢上大體、西部高地・東部高地・中央大平原の三區に分たれる。

西部高地は雄大なロッキー山脈と、これに並ぶ數條の山脈とから成り、その間に大きな盆地や高原が包まれてゐる。東部高地はア巴拉チヤ山脈の地帶で、西部高地に比べると、規模が小さく、險しくない高原状のところが多い。この兩高地の間にある中央の大平原は、北は北極海岸から南はメキシコ湾に達し、五大湖やミシシッピ川もその中に含まれてゐる。

北部の北極海方面には、冰雪におぼなれた大小の島があり、中でもグリーンランドは世界第一の大島で

ある。

北西部のアラスカに續いて、アリューシャン列島がアジャとの間に飛石のやうに連なり、その内側にベーリング海を抱いてゐる。又南部のカリブ海方面には、熱帶の海洋中に西印度諸島の島々が散在してゐる。

**氣候** この大陸には、北の寒帯から南の熱帯に至る間の大きな氣候的變化が見られるほかに、なほ地勢・海流・風向等の影響が著しくあらはれてゐる。太平洋岸の北部は、暖流や西風の影響で、緯度の割合に温いで、雨が多い。これに反して、寒流に洗はれる大西洋岸の北部は、太平洋岸よりも寒冷であるが、その南部は貿易風のために、雨が多く、温暖である。

大陸内部は、大陸性氣候の特色を示して、寒暑の差が甚だしく、西部高地方面は一般に雨が少く、沙漠となつてゐるところもある。

住民・コロンブスの航海以來、ヨーロッパ諸國から

渡航するものが相つぎ、北部及び中部にはイギリス

人、南部にはイスパニヤ人の子孫が最も多い。

この大陸の原住民はインディアンであるが、メキシコ以南に割合多いのみで、米國では僅かに保護されて残つてゐる程度であり、北部でも寒冷地方の森林で、狩獵を營むに過ぎない。更に極寒の地にエスキモーが住み、アフリカから來た黒人の子孫は、米國の南東部に多い。

北アメリカでは米國を中心に、北に英領カナダと米國領のアラスカがあり、これらの地方では、英語を國語としており、これに對し、南のメキシコ及び中米諸國、西印度諸島は、イスパニヤ語を國語としてゐる。

## (一) アメリカ合衆國（米國）

アメリカ合衆國は北アメリカの中部一帶の地を占め、北はカナダと接し、南はメキシコと境してゐる。本国の面積凡そ七百八十萬平方キロ、人口は一億三千

氣候上温帶性の土地が大部分を占める。大西洋岸の北部とメキシコ灣岸の土地は、北海道と琉球列島の間に見られる氣温のちがひを示し、雨量も適度である。

中央大平原では北西に行くに従ひ、大陸性氣候に移り變る。ミシシッピ川以西は、もと廣い草原をあらはしてゐたが、今は重要な耕作地として大部分が開拓されてゐる。ロッキー山脈に近づくに従ひ、雨量が減少して乾燥地となつてゐる。

西部高地の高い山脈には雨が多いが、内部の高原・盆地は乾燥し、所々に沙漠を生じてゐる。太平洋岸の北部は雨量が多く、針葉樹林の成育に適し、南部は地中海性の氣候で、葉の堅い樹の類が茂つてゐる。文化、住民の大部分は歐洲各國の移民及びその子孫で、英國系の移民が最も多く、米國化した英語を國語としてゐる。黒人は全人口の約一割に當り、南東部の諸州に多く、中には白人より多い州もある。太平洋岸

萬餘を數へる。

自然

南東部にはメキシコ灣と大西洋に面する海岸

平野があつて、廣いところは幅五百キロもあり、海岸には砂洲と潟湖が多い。ア巴拉チヤ山地の高度は二千メートルよりも低く、山頂は大體平である。中央大平原は大部分ミシシッピ川の流域に當つてゐる。北にはスペリオル・ミシガン・ヒューロン・エリー・オンタリオの五大湖が相連なり、エリー湖とオンタリオ湖との間には、有名なナイagaraの瀧がかゝつてゐる。

太平洋沿岸には低い山脈があり、ビューゼットサウンド・カリフォルニア低地等の一帶の陥没地域をへだてて、北部にカスケード山脈と、南部にシエラネバダ山脈がある。マッキーネ山脈との間には、北部にコロンビヤ高原が廣く横たはり、南部にコロラド台地が高い位置を占め、中央部の盆地はグレートベーズンと呼ばれる。

には、わが國人も支那人と共に移住して來り、南部にはメキシコ人も混つてゐる。

四十八州一區の聯邦共和國で、各州は軍備や外交以外は、殆ど獨立國の狀態を示してゐる。

農牧業に適する土地が廣く、機械力による耕作が大規模に行なはれてゐる。ミシシッピ川流域以東の地域は、重要な農業地帯である。氣温の高い南部諸州は、世界一の產額を示す綿及び煙草の栽培が盛大に行なはれてゐる。中部では玉蜀黍の收穫が世界の半分以上を擧げ、これを飼料として豚及び牛の飼養が盛んである。北部では小麥と燕麥の栽培が廣く行なはれるが、小麥のうち冬青のものは、ほど玉蜀黍地帯と一致し、春青のものはその北方で栽培される。

氣候が溫和で晴天の多いカリフォルニアでは、灌漑

の設備によつて、葡萄や柑橘類の廣大な果樹園が經營

されてゐる。

埋藏量の豊富な礦産物は、大型の機械と最新の方法とによつて、盛んに採掘されてゐる。石炭・鐵・銅及び石油の產額はおびただしく、いづれも世界一を示してゐる。

諸種の原料及び動力源が國內に充満し、更に各種の

好條件に恵まれて、工業の發達は世界最大となつた。農畜產物を原料とする工業は、主に產地附近の都市で發達してゐる。

しかし早くから開けて交通に便利な北東部沿岸と、廣大な炭田があつて、原料の輸送に便利な五大湖附近には、諸種の工業が大いに發達して、廣い工業地帶をあらはしてゐる。

大陸横斷の鐵道は幾本も駆かれて、又鐵道網の發達は著しい。特に大體西經百度の經線を境として、それ以東の地域は、以西とちがつて甚だ密である。これは一つには、その地域に於ける農牧の產物を輸送する必要がある。附近のバターンでは、絹織物業が盛んである。

ニューヨークの南西にあるフィラデルフィヤはよい河港で、船舶及び車輛などの製造工業も榮えてゐる。ボルチモアは工業の盛んな貿易港、首府のワシントンは純然たる政治都市で、議事堂及び白堊館は有名である。

バージニヤ州から南では、煙草と綿の栽培が行なはれ、フロリダは亞熱帶の氣候で、オレンジ類の產がある。

五大湖沿岸 オンタリオ湖岸にある台地は、石炭と石油を埋蔵してゐる。ビッグベーグは世界一の製鐵都市である。エリー湖沿岸は、石炭・石油の大產地に近く、五大湖の交通を利用し、一帯の重工業地域をあらはしてゐる。湖岸のタリーブランドはその一中心都市であり、北西部のデトロイトは規模の壯大な自動車工場で知られてゐる。

があるからであり、ミシシッピ川の水運も亦、そのために大いに役立つてゐる。

無電信號などの設備で、夜間の航空も安全に行なはれ、道路は完備してゐて、自動車の使用がよく普及してゐる。工業地帶の貨物輸送には、北方の五大湖と運河が利用される。

處誌 東部地方 ハドソン川以東は、最も早く開けたニューヨークランドの地方である。漁業と酪農業のほかに、紡績・毛織工業や時計その他の精密機械工業が盛んに行なはれる。良港ボストンは古い町で、商業も發達してゐる。

ハドソン川口には米國一の貿易港で、世界的の大都市ニューヨークがある。マンハッタンの海岸には多くの繫船埠壁が連なり、常に數萬トンの大船がそこに並んでゐる。米國都市の特色である高層建築が、堅い岩盤の上に林立して、中には七、八十階に達するものもある。

シカゴはミシガン湖頭にあるため、東西横斷鐵道の集合點となり、又舟運にも恵まれてゐる。この地は中央大平原の開發と共に急激に發達した。農畜產物の市場があり、牛・豚の大屠殺場もある。製粉及び製鐵と農具の工業が盛んである。

スペリオル湖の西部にあるジュルハスは、鐵鑄地域の中心都市で、特に鐵材の送り出しにあらはれてゐる。

中央大平原 この地域はいくつかの農業區に分けられ、牛や豚の飼養も盛んである。ミネヤボリス・セントルイス等の都市は、製粉や製肉業で發達してゐる。南部は綿の主產地で、主に黒人が耕作に從事してゐる。ガルベストンは綿の輸出港で、附近には米を産する。ニューオルリヤンスはミシシッピ川の三角洲上にあり、南部第一の貿易港で、附近には甘蔗の栽培が行なはれる。南部のテキサス・ルイジアナ州には、石油

の産が多く、北東部へ遠距離の輸送が行なはれる。

**西部地方** 西部高地は人口が少く、所々の鐵山のほか、産業は一般に盛んでない。國立公園としては、階段状になつた大規模な地層の見られるグランドキャニオンや、水蝕を受けたヨセミテ渓谷、聞歌泉で有名なエローストン公園のほか、北部ロッキーの氷河公園などがある。

コロンビヤ川の流域では、りんごの産が多く、シャトルとタコマは重要な港で、美しいレーニヤ火山が遠く望まれる。カリフォルニヤ低地では、乾燥した氣候を利用して、ほし葡萄やほしいちじく・ほしあんずなどを大量に製造し、桃・梨等の罐詰の産額も世界的である。

サンフランシスコは太平洋岸第一の良港で、ゴールデンゲートの海峡を渡る吊橋は壯觀である。ロサンゼルスは最も温暖な氣候のところで、附近の石油採掘

の地がひろがつてゐるので、面積の割合に人口は少く、約一千一百萬で、米國の十分の一にも足りない。  
**自然** セントローレンス川の東は、米國の東部高地から續く丘陵地で、海岸線は出入に富み島が多い。ハドソン湾にのぞむ一帯の山地は、灣岸に向かつて低くなり、かつて氷河におぼはれた跡を残して大小の湖沼が多く、五大湖から北西に續く湖の列は特に目立つてゐる。これらの湖沼列一帯の地域は、米國から續く中央の大平原で、西方はロッキー山脈を東の端として西部高地に移つてゐる。

米國と境を接する地帶をのぞいては、殆ど道路もない針葉樹林によつて廣くおぼはれ、北部はツンドラ帶に移つてゐる。殊に北極海の沿岸や島々は、一年の大部分冰雪にとざされてゐる。  
ニューフォンドランドの近海は、夏季グリーンランドから南下する氷山と濃霧で有名である。

で急激に發達した。カリフォルニヤ湾の奥にあるインペリアルバレーは、もと概ね沙漠であつたが、灌漑によつて果物や綿の產地となつたところである。

**アラスカ** かつて米國がロシヤから買ひとつたところで、面積は約百五十萬平方キロもあるが、寒氣がきびしく、未開拓で、住民は七萬餘に過ぎない。

この地方には六千メートル以上の高峰や活火山もあり、水河が山地から海にのぞんで絶壁をあらはすところもある。北部のツンドラ帶では、エスキモーが馴鹿を盛んに飼養してゐる。南岸では米人が漁業と林業を行なひ、ジュノーは海岸にある鐵山町で、附近には金山が多い。

## (二) カナダ

カナダは北アメリカの北半部を占め、南は米國と境し、北西はアラスカと接してゐる。面積は九百六十萬平方キロもあるが、南部をのぞくと、一般に寒冷不毛の内陸部は大陸性氣候の特色が著しく、雨量は少い。

**文化・歴史** カナダは英國の重要な自治植民地であるが、今日では殆ど獨立國のやうな形を備へてゐる。住民の大部分は英國人の子孫であるが、早くから移住したフランス人の子孫は、セントローレンス川の谷に多く、そのあたりでは、今もフランス語が用ひられてゐる。

中央平原はカナダの主な農牧地である。夏の氣温が高いので、春蒔の小麥や大麥の耕作は大農法によつて行なはれ、牧牛も盛んである。ウイニベグはそれらの集散にあはれた都市である。特に小麥は鐵道と五大湖の水運によつて、東部へ送られ、モントリオールやニューヨークから、多量にヨーロッパへ輸出せられ、又西海岸のバンクーバーから太平洋方面へも送り

出される。カナダが小麥の輸出では世界一といはれるのは、その產額に比べて國內の消費が少いからである。

東部・西部の山地に分布する廣大な森林は、カナダの一大富源である。多量の木材を産し、それを原料とするバルブ・製紙工業も發達してゐて、この國の大切な輸出品となつてゐる。

カナダには世界產額の大部分を占めるニッケルをはじめ、金・銀・銅・鉛・石綿等が、いづれも多量の產額を示してゐる。

漁業として有名なニューフォンドランド島近海では、鮭・鰐等の漁獲が多く、太平洋側の川や沿海には鮭が多い。

五大湖附近からセントローレンス川の流域にわたる東部地方は、カナダで最も早く開けたところで、牧草と燕麥が栽培され、酪農が盛んである。又このあたり

であるが、土地が高いので一般に温和である。例へば首府メキシコは、約二千三百メートルの高所にあって、殆ど年中いはゆる常春のやうな氣温である。低地は暑く不健康地であるから、港のほかに都市は發達せず、主な都市は多く高原にある。

雨量はメキシコ海岸をのぞいて高原一帯に少く、殊に北部は乾燥して大部分沙漠狀を呈し、電柱などの高さに達するサボテンを見る事もできる。

住民の大半は高原に居住してゐる。原住民のインディアンとイスバニヤ人の混血が、メスキズと呼ばれて最も多い。

農産物の主なものは玉蜀黍で、國民の常食となつてゐる。低平なユカタン半島に栽培されてゐるヘネケンからなるサイザル麻は、世界產額の半分以上を生産してゐる。

この國第一の資源である礦產物は、世界一の產額を

は、水陸の交通が便利であるから諸工業が興り、主な都市も集つてゐる。この地方は水力の利用が盛んで、バルブ・製紙工業のほか、金屬の精鍊や、製粉などの工業が發達してゐる。オンタリオ湖岸のトロントは工業の中心地である。ナイアガラ瀑布はカナダ及び米國の双方で、水力發電に利用されてゐる。

セントローレンス川にのぞむモントリオールは、この國第一の都市で、貿易の盛んな河港として知られてゐる。西方のオタワは政治の中心地で、附近にはバルブ・製紙工業が盛んである。

### (三) 南部地方

メキシコ 米國の西部高地が南へのびて高原をなす部分が、この國の廣い面積を占め、低地はメキシコ海岸にある過ぎない。高原には雄大な火山が多く、中には高く雪をいただいてそびえ立つものもある。

緯度から見れば、大部分亞熱帶及び熱帶を示すはす  
示す銀をはじめ、石油・銅・亜鉛等、甚だ豊富であり、輸出品の大部分を占めてゐる。

中央アメリカ この地方は北米と南米の兩大陸をつなぐ細長い地帶で、ここに六つの小共和國と一英領とがある。面積で最大のニカラグアが十三萬平方キロ、人口で最大のグアテマラが三百萬人を數へるに過ぎない。

一般に山がちで、三十餘の活火山が並び、しばしば激しい地震におそはれる。

住民はメスキズとインディアンが多い。海岸の平野は熱帶の不健康地であるから、涼しい高地が居住に適してゐる。低地ではバナナ・ココア、山地ではコーヒーなどを栽培してゐる。

パナマ運河 この運河は、米國が大正三年にパナマ國の地峡部を開いてつくつた特色ある閘門式運河で、その全長は八十キロに達する。この運河によつて大西

洋・太平洋間の航路を著しく短縮し、世界の交通上に大きな貢献をした。米國は、運河に沿ふ幅十六キロの土地を永久に租借して、運河を管理してゐる。この運河地帶では、森林を伐採し、排水や通風を改良して、マラリヤ等の悪疫を一掃し、白人も熱帶地に居住できる實例を示してゐる。

#### 西印度諸島

この地方はメキシコ湾から東方へのび、南米の北岸に至る間、熱帯の海上に連なる大小多の島々から成つてゐる。中央アメリカと同様、火山活動や地震が多く、マルチニック島のモンベレ火山は特に有名である。

この地方は颶風に似たハリケーンの發生地、或はその進路に當り、しばく大きな被害を受ける。

キューバ共和国では早く植民したイスパニヤ人の子孫が七割を占めるが、他の島では黒人及びその雜種が多い。ハイチ共和国は黒人が建設した。

それより規模がずっと小さい。この東西兩高地の間には、アマゾン・ラプラタの二大河の流域にわたる中部の大平原が横たはつてゐる。

南アメリカは北アメリカと共に形がほど三角形であることや、地勢が西部・東部の高地と、中部大平原の三區に分たれることなどに於いて似通つてはゐるが、赤道が北部を通過してゐるため、大陸の北半部が熱帶であることは、北アメリカと大いに相違する點である。

殊にアマゾン流域は熱帶の特色が著しく、高温多雨であるため、到るところ深い密林におはばれてゐる。これに反し、南部のラプラタ流域には廣い草原地帶があつて、本大陸の主な農牧地となつてゐる。アンデスの山地は一般に氣候が乾燥してゐるが、殊にその西側は雨が少く、中央部では沙漠をなしてゐる。海岸線は一般に單調である。

#### 文化

南アメリカの大部分は、四百年ぐらゐ前から

農業が主な産業で、甘蔗・煙草をはじめ、コーヒー・バナナ等の栽培が盛んで、殊にキューバの砂糖は世界屈指の產額を有してゐる。又首府のハバナ附近では、世界で最も良質の葉煙草を產し、白布で日被をして強い日光を避ける島は、特殊の景觀を呈する。

#### 一一 南アメリカ

自然 西の太平洋側にはアンデスの大山系が南北に長く連なつてゐて、この大陸中地勢の最も険しい地域をなし、山中には所々に高原や盆地がある。アンデスは最高峰アコンカグアをはじめ、六千メートルをこえる數多の高峰を有し、太平洋上から見ると、あたかも屏風を立てたやうに險しくそばだら、高さではヒマラヤに次いでゐるが、長さでは世界第一の山系である。

東部には廣いブラジル高地があつて、一般に險しくない高原状の地域となつてゐる。北部のギヤナ高地は

イスパニヤ・ボルトガル兩國の植民地となつた。その後兩國共、本國本位の政治を行なつたため、北東の一部をのぞいて、各地がそれと獨立し、現在では十箇國に分れてゐるが、一般に政治的自覺に乏しい。これら諸國のうち、國勢の最も盛んなのは、アルゼンチンとブラジル・チリで、A・B・C三國と稱せられる。

原住民のインディア人のうち、アンデス山中に住む種族は、かつて獨自の文化を有し、りつぱな道路や城市をつくり、灌漑耕作を營み、玉蜀黍や馬鈴薯を栽培したが、今は著しく衰へてゐる。森林地帶や海岸の方では、原始的な生活を續けてゐる種族が多い。しかしこれらの純粹なものは減少し、イスパニヤ人やボルトガル人との雜種が最も多數を占めてゐる。なほ全體的に見て、イスパニヤ人・ボルトガル人の子孫が最も勢力を有し、それらの國語が使用されて、ラテンアメ

リカと呼ばれる。

### (一) アンデス諸國

アンデス山系を中心とする地方には、幾つかの國々がある。北部にコロンビヤとエクアドル、中部にペルーとボリビヤ、南部にチリがある。

コロンビヤ アンデス山地から、エメラルド・白金等を産し、石油の産も知られてゐる。海岸の低地には甘蔗・バナナ・ココア等がつくりられ、千メートルぐらゐの高地で、コーヒー・玉蜀黍・麥類等の栽培が行なはれる。首府のボゴタは、約二千六百メートルの高所にある。

エクアドル 農産物の分布や居住状態はコロンビアと似て、熱帯に於ける高原國の通有性を示してゐる。高價なバナナ帽は、こゝのインディアンによつてつくられる特產物である。

首府のキトは三千メートルに達する高原にあり、

東半部は熱帶の低地でゴムの産がある。鑄産物では錫・アンチモンが有名で、輸出品の主なものとなつてゐる。首府ラパスは四千メートルに近い高所にあり、始めてこゝに來るのは、高山病にかかるほどである。

チリ 國の大部分はアンデス山系を主とする山地で、火山が所々に分布し、地震も多い。氣候が北部・中部・南部で異り、南へ行くほど寒冷となる。北部は高温で且つ世界中最も雨の少い地方の一つで、アタカマの沙漠がある。そこに特有のチリ硝石が産出し、チリの最も重要な資源となつてゐる。イキーケ及びアントファガスターはその輸出港である。北部の銅鐵は米國の會社によつて探掘され、世界第二位の產額を示す。

中部は温和な地中海性の氣候を有し、低い海岸山脈をへだてて細長い低地があり、主要な農業地帯となつてゐる。首府サンチャゴはこの地帯の中心都市をなしてゐる。南部は寒冷で年中雨が多く、樹木が茂つてゐる。

爽涼な氣候は年中春先きのやうである。富士山に似て美しい世界最高の活火山コトバクシは、六千メートルに近く、赤道直下にあつて雪をいただいてゐる。

ペルー ペルーの海岸地帯は非常に雨が少いが、米國の投資で河谷は灌漑され、甘蔗や綿の栽培が盛んである。沿岸の諸島にはペリカンなどの海鳥が群集し、氣候乾燥の結果、グアナ層が堆積して雪のやうである。グアナはかつて重要な輸出品であつたが、今は著しく掘りつくされた。

アンデス山中に都市があること、銀・銅をはじめ、種々の鉱産物が豊富なことなどは、コロンビヤとほゞ似てゐる。北部では油田もある。山地では駄用としてリヤマが使役され、織物用の毛をとるのにアルバカが飼はれてゐる。この國はインカ帝國の故地として、當時の遺蹟が所々に見られる。

ボリビヤ 國の西半部はアンデス山地に占められ、

る。海岸線は複雑な獨得の形をなし、南端にマゼラン海峡がある。

### (二) アルゼンチンとその他

アルゼンチン チリと異り、國の大部分が平野で、氣候も概ね温帶性であるが、雨は比較的に少い。ラブラタ川の流域一帯は小麥の產地で、また羊・牛・馬の世界的な牧畜地域である。玉蜀黍や亞麻仁油なども多く產し、南半球では藻洲と共に穀倉と呼ばれてゐる。又この地域は南米で最も鐵道網の密な地域である。この大平原を控へた首府ブエノスアイレスは、人口約二百五十萬、南米第一の都市で、港の設備がよく農畜産物の輸出港として名高い。

この國の人口は約一千三百萬で、白人が大部分を占め、イスバニヤ人の子孫を中心じ、各國の移住民から成り立つてゐる。

# 不良開き以下

ウルグアイ 小國であるが、殆ど白人のみの國で、

南米中で文化が最も高い。牛・羊の牧畜が主な産業となつてゐる。首府のモンテビデオは、ラプラタの川口に位し、肉類の輸出港として特に知られてゐる。

バラグアイ 内陸の平原國で、產物では肉類のほか

(三)

バラグアイとその他の

ブラジル 南アメリカの東半部を占めるブラジルは、この大陸第一の大國で、南部のブラジル高地と、北部のアマゾン低地とに大別することができる。

ブラジル高地は、地勢が一般に高臺であるため、熱帶性の氣候が和らげられてゐる。高地の南部一帯はコーエーの產地で、產額は世界の過半を占め、コーエー國の稱さへある。その大部分は米國へ送られる。綿の栽培も盛んで、紡績工業も興つてゐる。東部の海岸では甘蔗の產出が多い。牧畜も一般に盛んで、牛・馬・豚

の頭數が多い。

ブラジル高地には、鐵・マンガン・石炭・金・金剛石等の地下資源が多く、礦業の將來は甚だ有望とされてゐる。

アマゾン川は、果てしない熱帶の密林地帯を貫いて洋々として流れてゐる。流域一帯は高温多雨で、まだ開發が進まず、人口も非常に稀薄である。しかしこの密林地帯がゴムの原產地で、アマゾンの川口のバラカラ輸出されるので、バラゴムの名は古くから知られてゐる。

ブラジルは豊沃な土地が廣く、天然の資源も豊富である。隨つて今後、國民の教育が向上し、交通が便となり、優秀な移民と資源が一層流入されるならば、世界の主要國となることもできる。

國土の面積は八百五十萬平方キロを占めて、米國に匹敵するが、人口は四千四百萬で、米國の三分の一に

昭和二十一年五月三日 薄葉印刷  
〔昭和二十一年五月三日文部省監査〕

高等学校地理上 第二章年目(第一分冊)

◎ 定價 金参考金

著作権所有 発行者 文部省

東京都王子區堀船町一丁目八五七番地  
翻刻發行  
会印刷者 東京書籍株式會社

代表者 井上源之丞

Approved by Ministry  
of Education  
(Date May. 3, 1956)

東京都王子區堀船町一丁目八五七番地  
印刷所 東京書籍株式會社

發行所 東京書籍株式會社

過ぎない。そのためにアルゼンチンと同様、各國からの移住民を歓迎してゐる。

かつてボルトガルの植民地であつたため、ボルトガル人が最も勢力を有するので、南米の他の國とはちがひ、ボルトガル語を使つてゐる。

首府リオデジャネイロは人口約百八十萬、椰子の並木で飾られ、花崗岩山地の入江にのぞむ風景の美しい良港である。

ベネズエラ・ギヤナ ベネズエラは石油の産が世界有数で、マラカイボ湖沿岸の油田が知られてゐる。

ギヤナは、英・蘭・佛領の三地域に分れ、英領が割合開發されてゐる。

### 三 ヨーロッパ

地勢・海洋 ヨーロッパはアジャの西に續く半島状

の地域で、その面積はアジャの凡そ四分の一に過ぎない系のもので、ヒマラヤからアルプスへ至る幾條かの山脈は、東西の連絡を保つてゐる。ただこれらの山脈は一直線に續くのではなく、多くはうねりながら走る間に、その一部は湖海によつて斷絶してゐるし、又山脈と山脈とが或は集つて高原を作り、或は離れて盆地を圍むなど、複雑な地形を呈してゐる。かうした諸山脈の連なる南歐の地中海沿岸は、ヨーロッパで最も高峻な山岳地域をなし、地形の變化に富んでゐる。ヨーロッパの北部は高原状のスカンジナビヤ山地のほか、土地が低平で、氷河によつてつくられた多くの湖沼が散在じてゐる。

かやうにアジャとヨーロッパとの間には、兩者の交通を妨げるやうな廣い海や沙漠や高い山脈などがないので、古くから民族の來往がくり返された。半島状のヨーロッパが海に縁の深いことも亦その特性の一つとして注意しなければならない。三面に海を

い。

ヨーロッパがアジャの地続きであるといふことは、ヨーロッパの地理的特性の一つとして大切である。この點アメリカ大陸などのやうに、大洋によつて他の大陸と隔てられてゐるところとは、おのづからちかつた性質が見られる。アジャとヨーロッパとの境界を見ると、地中海と黒海とを繋ぐ狭い海峡は、呼べば應へるばかりに接近してゐるし、その他の陸の部分には、低いウラル山脈以外に著しい自然的境界がない。随つて亞・歐兩地域の間には、自然的にも文化的にも密接な關係が認められる。シベリヤから中央アジャに至る廣大な平野は、東部ヨーロッパへ續き、更に中部ヨーロッバの大西洋沿岸にのびてゐる。その他、ヨーロッパには所々に平野が多く、平野は全面積の半ば以上に達してゐる。

又大陸の骨髄ともいへる大山脈も、亞・歐にわたる山脈は、海岸線は長くて非常に複雜である。北は北極海に面し、西は廣く大西洋を開けてゐるが、南の地中海はそれらとちがつて、陸地に深く入り込み、幾多の部分に分れた内海である。地中海はヨーロッバとアフリカとを隔てるばかりでなく、その水は黒海とも通じて、いはばヨーロッバとアジャとの境界の一部となつてゐる。しかも地中海には、各所に陸地との間に飛石のやうな島々が散在し、又長い半島が突き出て對岸に接近してゐるなど、周囲の地域を隔離するよりも、むしろ互に結びつけるのに役立つてゐる。ヨーロッバの歴史が東地地中海の地域からはじまるのは、アジャ及びアラリカとの關係の深かつたことをよく物語つてゐる。又かつて地中海を中心として、幾度かこの三地域にまたがる國のできたことと、このことをよく證明してゐる。

氣候 ヨーロッバ本土の中で一番南に當るイベリヤ

半島の南端は、凡そ北緯三十六度で、東京よりも半度

ばかり北にある。ロンドン・モスコーは北緯五十度以北にあつて、これをわが國やアジャの諸地方などに比べると、ヨーロッパではすつと緯度の高い地方に活動の中心地があることがわかる。これはヨーロッパの冬が緯度の割合に氣温の高いことによるのであり、この現象は主として大西洋沿岸を流れるメキシコ滯流といふ大きな暖流と、その上を吹く偏西風との影響にもとづいて起るのである。しかも主な山脈が、大體東西の方向であるから、濕氣を含んだ西風は内陸へ遠く吹き入ることができて、高緯度の氣候を和げると共に、東部をのぞき、一般に適度の降雨を與へてゐる。殊に大洋沿岸は夏冬の氣温の差が少く、よく海洋性氣候の特色を呈してゐる。しかし大西洋沿岸から東へ遠ざかるに従つて、その影響が減少して行くのは事實で、東部ヨーロッパでは雨が少く、寒暑の差が著しい大陸性

チエートン族はイギリス人やドイツ人によつて代表

され、スカンジナビヤ方面にも居住し、現在は最も高い文化を有する。ラテン族はフランス・イタリヤ及びイベリヤ半島などに分布し、その文化は一般に早く開けた。スラブ族はロシヤ人によつて代表されるが、更にその分布は、中歐の一部からバルカン半島に及んでゐる。このほかアジヤ人種に屬するトルコ・マジャ

ル・フィン等の諸族が、島のやうに散在的に分布するが、多くは既に著しく歐化されてゐる。

ヨーロッパ人種の間にはキリスト教があまねく信せられ、ヨーロッパの文化とは切り離すことのできない深い關係をもつてゐる。キリスト教のうち、新教は主としてチエートン族の間に、舊教はラテン族の間に、ギリシャ教はスラブ族の間に信せられてゐる。その他バルカン方面やロシヤには回教徒も少くない。

ヨーロッパには多くの民族があつて、大小數多の國

氣候を示してゐる。

周圍に山脈をめぐらした地中海沿岸は、一般に雨が少く、殊に夏は乾燥して、冬雨が多いといつた、いはゆる地中海性氣候を呈する。明かるい乾燥した地中海沿岸の南歐は、ヨーロッパの他の地域とはおのづからちがつた趣をもつてゐる。

暑さ寒さが概ね厳しくなく、衣服は大體夏冬の二種で足りる。また暴風なども少い。かやうに全體としてヨーロッパが恵まれた氣候のもとにあることは、住民の活動に對して極めて好都合な條件であるといはなければならない。隨つてヨーロッパの大部分は、氣候が農業や牧畜に適してゐて、不毛地が少く、土地は到るところよく利用されてゐる。

住民・政治　ヨーロッパは人口約五億三千萬、大部 分がヨーロッパ人種で、その主要なものにチエートン、ラテン・スラブの諸族がある。

人々がつくられてゐるので、國境が甚だ複雑であり、各國の關係も亦同様に複雑である。互に近接するこれらの國々が、各自の特性を發揮しつゝその發展を競ふことは、文化の向上に大きな貢献をなしたゆゑんである。

#### (一) 東部ヨーロッパ

##### ロシヤ(ソビエト聯邦)

自然　東部の低いウラル山地をのぞけば、大部分が廣大な平原の地域を占め、中に二、三百メートルをこえない程度のおだやかな丘陵があるに過ぎない。この平原の中を、ロシヤの母とよばれるボルガ川をはじめ、ドニエブル・ドン・ドビナ等の川が緩やかに曲流し、それらに注ぐ幾多の支流と共に、複雑な水路網をつくつてゐる。

氣候はヨーロッパで最も大陸性の特色を示す。冬は全地域を通じて氣温が氷點下に降り、河川の凍結期間

が南部で三ヶ月、北部で七ヶ月に及ぶ。雨量は一般に

少いが、殊に南部に少く、この地方には草原が廣く分布してゐる。北部には針葉樹や白樺類の廣い森林があり、タインガと呼ばれる密林をなし、その間には沼澤地が散在する。

文化 住民の大部は、スラブ族のロシヤ人で三種に分れてゐる。ロシヤ共和国の大ロシヤ人が半分以上、ウクライナの小ロシヤ人が約五分の一、西部の白ロシヤ人は、純粹なスラブ族であるが、その数は遙かに少い。ユダヤ人は各地に散在し、経済方面で重要な地位を占めるものが多い。

政治的には、ロシヤ共和国を中心とし、東歐からアジヤにかけて存在する幾つかの自治共和国が、ソビエト聯邦をつくつてゐる。

ロシヤ人は農民としての傳統的な生活や、氣候の試験などの影響によつて、強健な身體と耐苦に耐へる精神が行なふことによつて、俄かに活氣を呈し、從來不振であつた工業も急速に勃興した。石炭の採掘、水力の開発など、動力源の利用が盛んに行なはれ、大都市や炭田附近には工業地帯が出現した。

南部のドネツ川流域には豊富な炭田があり、附近に鐵礦の產地が伴なつてゐるので、重工業その他の工業が急速に發達して、重要な工業地帯をなすに至つた。南部の主要都市であるスターリングラード・ハルコフ、

キエフ等は、いづれも工業都市として活氣をわびてゐる。又モスクワ附近やウラル地方などにも、炭田と鐵礦地が相伴ひ、それと工場地帯をつくるのである。又製鐵に必要なマンガンの產額は世界一であり、そのほか岩鹽・金・銅も少くない。

首府モスクワは國內の交通路の集まるところであり、

り強い性質をもつてゐる。

ロシヤは平野が廣い上に、南部に黒土地方と呼ばれる肥沃な土地がある。隨つて農業が特に發達し、盛んに機械を使用して大規模に營まれてゐる。小麥・大麥、ライ麦・燕麥等の麥類や、馬鈴薯・亞麻・大麻等は、いづれも世界有數の產額を示し、甜菜・煙草等の產も多い。ヨーロッパの穀倉の名にふさわしく、住民の大部分は農業に従事してゐる。黒海沿岸にあるオデッサは、穀物の輸出港として名高い。

又草地が廣いので、羊・牛・馬等の牧畜が盛んであり、馬の頭數は世界一である。かやうに農牧業の規模が大きいことに於いて、米國と似てゐるが、それは兩者が共に廣大な平野をもつてゐるからである。

中部から北部にかけて分布する森林の面積は、國土の約三分の一に達してゐる。隨つて木材の產が多く、主要な輸出品として、レニングラードから盛んに輸出される。

## (二) 北部 ヨーロッパ

フィンランド 國内には低い丘陵地が多く、そこには廣く氷河作用の跡をとどめてゐて、到るところ岩石が露出し、急流や小滝がある。その間には無數の湖沼が散布して、水面の總面積は、陸地のそれと殆ど同じである。又起伏する丘陵の表面には、針葉樹と白樺の林が續いてゐる。

住民はアシヤ人種に屬するフィン人で、體育と競技に熱心で、教育も普及してゐる。湖水や急流は水力發電に利用され、製材及び製紙、バルブ工業が行なはれて、主要な産業となつてゐる。首府ヘルシンキは、貿易港を兼ねてゐる。

スウェーデン・ノルウェー スカンジナビヤ半島は、

ヨーロッパ北部にある大きな半島で、内側にバルト海

が奥深く入り込んでゐる。一般に高原状をなし、分水

嶺が西に片寄つてゐるため、東側のスウェーデンでは、地勢がやゝ緩かであるが、西側のノルウェーは、山地が直ちに海に迫り、海岸には高い断崖が連なつてゐる。さうしてそこには、氷河作用によつてつくられた多くの峡湾きょうわんが、陸地深く食ひ込み、その静な水面に、岩壁を落下する龍の影を映じてゐる。

この半島は廣く森林におほはれ、その間に多くの湖沼が散在してゐる。高緯度の地方であるから、氣候は寒冷で、冬バルト海の大部分が凍るのは、水運上、大きな缺點である。しかし大西洋岸はメキシコ湾流の影響を受けるから、ノルウェーでは北部の海岸も凍らない。高緯度地方のため、夏は朝夕の薄明はくめいが長く、微光に照された山野の景色は秀麗であり、冬の夜は非常に長く、極光を見ることが稀でない。

スウェーデン・ノルウェー二國の住民は純朴で、敢

爲な氣性きせいに富み、古來航海の技に長じてゐる。特にノルウェーは世界有数の海運國として商船の數が多い。

### (三) 中央ヨーロッパ

ボーランド 國の大半は平原をなし、水河の堆積

物でおほはれてゐる。南部にはカルバチャ山脈が連なつてゐるが、あまり高くない。この山地に發源するウイスツラ川は、國土の大半をその流域として、重要な水路となつてゐる。

住民の主なものは、スラブ族のボーランド人であ

る。農業が最も盛んで、ライ麦や燕麥のほか、馬鈴薯・甜菜などの産があり、カルバチャ山地には油田がある。又ウイーリツカの岩盤は豊富であり、南西部の上、シレジエン地方には、石炭と鐵礦を產出する。

首府のワルシは、ウイスツラ川にのぞむ工業都市で、又水陸交通の便がよい。ウイスツラ川口のダンチ

農牧業は平地の比較的廣いスウェーデンの南部で發達し、酪製品の生産も少くない。

兩國共森林が大きな富源で、水力電氣を利用し、割るところに、木材・バルブ・紙・マッチ等の製造が行なはれ、主要な產物として各地へ送られる。スウェーデンは良質の鐵礦を多く產するが、石炭の產出に乏しいので、多くは鐵石のまゝ英國などへ輸出される。

スウェーデンの首府ストックホルムは、市街の一部が岩石の小島にあつて、王宮などの建物が海水にのぞむ美しい貿易港である。又ダーテボルグは工業の盛んな貿易港である。

ノルウェーの近海は世界的の好漁場で、鮑・鮟鱇等の漁獲が多く、ベルゲンその他の漁港が發達してゐる。首府オスロは南部の入江にのぞみ、重要な門戸となつてゐる。バンズルフエストの漁港はヨーロッパ最北の町である。

ヒは、古くから有名な港市である。

ドイツ 北部はボーランドから續く低濕な土地で、海岸には砂丘が發達してゐる。この地方は、水河の運んだ砂礫と粘土で廣くおほはれてゐる。ヴェーゼルとエルベ、及びオーデルの諸川は、淺い谷の中を緩かに西に流れてゐる。いづれも水量が豊かで、互に運河によつて結ばれてゐるので、水運の便が多い。南部には高さ二千メートルに達しない幾つかの山地があつて、一帶の高地をなし、南境にはアルプスの山岳地帶が急にそびえ立つてゐる。

氣候は比較的溫和で、南部に進むに従つて土地が高まるので、氣温は概ね平均してゐる。南部の山間盆地は雨が少く溫暖で、葡萄の栽培に適する。

山地と丘陵の中腹には、科學的な方法によつて林業が行なはれ、ドイツ唐檜などのみごとな森林が生育してゐる。

チュートン族のドイツ人は、科學思想に富み、日常生活は甚だしく規則的である。音樂の趣味がよく普及

して、昔から偉大な作曲家を出した。しかしこの國は第二次歐洲大戰に於いて慘敗し、且下聯合國軍の占領下に置かれてゐる。

農産物として、黒パンの原料となるライ麦は、馬鈴薯と共に北東部の瘠地に多い作物である。馬鈴薯はこの國の盛んな養豚の飼料、並びにアルコールの原料としても重要である。小麥及び大麥の耕作は、南部に盛んである。又ビールの醸造に用ひられるホップの畠も、南部が多い。

鐵產物では石炭が最も重要で、鐵道と共に南部山地が主產地となつてゐる。なほ岩鹽・加里鹽も重要な資源である。

交通機關が整備してゐて、鐵道網も甚だ密であり、

貿易の關係から國際列車が多く通過する。又自動車道

地方の首都ミュンヘンは、アルプスに近い高原の上にあり、ビールの醸造で知られる。チエツコスロバキヤこの國は西スラブ族のチエツク人とスロバッカ人が、住民の大部分を占めてゐるが、西部にはドイツ人が多く、三種の言語が用ひられる。

エルベ川流域のボヘミヤ盆地は、豊沃な農業地で、

山地には石炭と鐵礦の產地がある。又この地方は色彩の美で知られた、ボヘミヤ硝子の製造が盛んである。

首府のブダペスト(ブダペ)は、盆地の中央に位し、工業地帶の中心地である。

オーストリヤ、國の大部分はアルプスの東部に當る山地で、平地は僅にドナウ川沿岸に限られてゐる。住民はドイツ人である。

森林が廣く分布し、山腹や谷底には、所々に牧場が見られる。さうして酪農業は、この國の自然に適應して發達してゐる。

路は、全國の大都市を連絡してゐる。各河川を結ぶ運河が發達し、水運の便もよく、特にライン川やエルベ川は重要な水路である。

サクソニヤのライプチヒは、出版業と、歴史の古い大學によつて著名である。首府のベルリンは、交通の要路に當つており、戰前四百萬の人口を算した。北海とバルト海を連絡するキール運河は各國に利用され、通過する船舶が多い。ハンブルグとブレーメンは、それともエルベ・ヴェーゼルの下流にあり、これまで扇形の後背地を有する貿易港であつた。

ラインの支流であるルール川の流域には、廣大なルール炭田があつて、この國第一の工業地帯をつくつた。ケルンはライン川の重要な河港である。ラインの谷は良好な農業地帯をなし、又各地に工業都市があつて、人口が密である。河岸には葡萄畠が連なり、この園に於ける葡萄栽培の中心地となつてゐる。パリリヤ

ドナウの河畔に首都のウィーンがある。古い歷史をもつ都市で、交通の要地に位し、美術工藝にあらはれ、工業では製紙工業と精密機械の製造が行なはれる。

ハンガリー、この國は大部分が平地であつて、この點オーストリヤと著しい對照を示してゐる。ドナウ川の本流及び支流は、平坦な盆地の中を緩かに曲流してゐる。氣候は大陸性で雨量は少いが、初夏に降雨があるので、ハンガリー平原では農業がよく行なはれ、穀物や馬鈴薯・甜菜等を多く産する。又廣い草原があつて、羊・牛・馬の牧畜が盛んである。

住民は主としてアジヤ人種のマジョール人で、歐洲化されてはゐるが、なほ言語・風俗・氣質等に、周圍の諸國とちがつた特殊性があつて、いはば人種的島嶼

の觀がある。

首府ブダペストはドナウ川にまたがり、交通・商業の中心をなしてゐる。

スイス 南部には高峻なアルプスの峻嶺が連なり、四千メートル以上の高度を示すものもある。ローヌの縦谷を隔ててそびえる高峰群のうち、特に著名なユングフラウには、三千四百メートルの高所に達する登山鐵道があつて、秀麗な岩峰や冰雪の美を賞することができる。山間にある氷河湖は、水色が藍のやうに濃く、四周の山影を映してゐる。

住民はドイツ人が最も多く、他はフランス人とイタリア人で、列強の緩衝國として、永世局外中立國となつてゐる。言語には三種の公用語が用ひられ、國民は堅實な生活を営んでゐる。

山腹や丘陵地に分布する牧草地では、牛が飼養され、良質のチーズと煉乳を産する。夏期には高山地で放牧

種々の國際會議が開かれるところである。ジュネーブ及びチューリヒは、それとも同名の湖岸にのぞむ景色のよい都市で、ジュネーブには萬國赤十字社本部があり、時計の製造で名高い。チューリヒは織物業地である。

オランダ 國の大半はライン及びマースの河流が築いた三角洲平野である。ネーデルラントの國名は低地を意味してゐり、國土の約四分の一は海面よりも低い。低地の周圍には堅固な堤防を築き、到るところに溝渠を掘り、ポンプや風車を使つて排水してゐる。ゾーデル海では、現在大規模な干拓事業が行なはれてゐる。干拓によつて得られた土地はボルダードと呼ばれ、地味が極めて肥沃である。

オランダの氣候は海洋性で、湿度が高く、霧が多くて、快晴の日は少い。卓越する偏西風を利用する水邊の風車は、昔ながらに回轉してゐる。

が行なはれ、村人の一部は、山麓から家畜と共に移住する風習がある。

瀑布を利用する盛んな水力發電によつて、鐵道は全線にわたつて電化され、種々の工場も電力を使用してゐる。工業に從事する人口が最も多く、精密機械のはかに電氣機具なども製作され、特に時計の産は名高い。精巧な織物工業は古い起原を有し、近年は化學工業も發達して來た。

壯麗な山姿と澄明な水色を有するスイスは、世界的な觀光地であつて、ホテルの設備はよく、登山鐵道の便があり、觀光產業による利益は大きい。

山岳國ながら、その位置が交通上重要なために、數條の歐洲幹線鐵道がこの國を通過してなり、鐵道網は甚だ密である。アルプスの險も、幾つかの長いトンネルによつて横斷されてゐる。

首府ベルンは高原の中央にあり、紡織物業が盛んで住民はチューリン族のオランダ人が最も多い。古來、航海商業に長じ、かつては歐洲の諸國を壓して、世界の海に活躍したこともあり、當時わが國とも通商して、西歐の文化を傳へた。女王をいたゞく立憲君主國であつて、海外に廣い植民地を有してゐる。

ボルダーは牧草の生育に適し、牧牛が盛んに行なはれて、チーズ及びバターの產額が極めて多い。ハーレム附近の砂質粘土の地域では、園藝が大規模に行なはれ、チューリップやヒヤシンスなどの畠が連なり、それら草花の球根は、世界の各地に輸出される。

ドーツ、フランスを後背地とするライン河口のロッテルダムは、この國第一の貿易港で、造船業が發達してゐる。アムステルダムは歴史の古い港市で、金剛石の加工は獨得の工業である。ハーグは政廳の所在地である。

ベルギー 地形上、三つの地帶に分けられる。北部

は低平な土地で、中部は丘陵性の地域をなし、南部は高原地帶である。立憲君主國で、植民地としては、アフリカに廣大な白領コングがある。

農業は北部低地及び中部丘陵地で行なはれ、土地が肥沃である上に國民の努力が加つて、世界一の收穫率を示してゐる。高原の南部では鐵の產額が多く、山麓には豊富な炭田があつて、リエージュの製鐵業をはじめ、ガラスその他の化學工業、毛織物業が盛んである。

この國の鐵道網の發達と人口密度の大きさことは、世界第一である。

アンペルスはシエベルト川の下流にのぞみ、漲潮時には大型の汽船も出入することができる。首府のプラッセルは、市街が美しく、小バリーの稱があり、精巧なビースを産する。

、ダクセンドルフはベーベギーの南東にある小國で、同名の首府がある。

#### (四) 西部ヨーロッパ

##### イギリス(英國)

自然 イギリス本國は、グレートブリテンとアイルランドの二つの主要島、及び附屬の小島から成り立つてゐる。大ブリテン島はイングランド・ウェールズ・スコットランドの三部に分かれ、アイルランド島は北アイルランドとエIRE國とから成つてゐる。

イングランドは、大ブリテン中、土地の最も低い地方で、北部のベンニン山地をのぞけば、臺地性の丘陵が緩かに起伏し、その間にテームス川・ハンバー川等の沿岸の低地が横たはつてゐる。ウェールズは概ね山地である。

スコットランドは山がちで、氷河作用を受けた地形の特色をよくあらはし、その侵蝕によつてできた多くの峡湾が發達してゐる。

デンマーク この國はユトランド半島の大部分と附近的の島々とから成り立ち、バルト海と北海の通路に當る大切な位置を占めてゐる。國民はチュートン族で、農民の教育が進んでゐるので、元來地味は肥沃ではないが、土地の經營がよく行き届き、農牧業が模範的に發達してゐる。特に酪農が發達し、バタはこの國の最も重要な輸出品である。

首府コペンハーゲンは東部の島にあつて、バルト海の門戸に當り、貿易が盛んである。

北大西洋上にあるアイスランドは、かつてデンマークが領してゐたところで、デンマーク王が國王を兼ねてゐるが、今では獨立國と同じやうな自治を行なつてゐる。

到るところに火山があり、高所には巨大な氷河がかかつてゐる。温泉が川になつて流れてゐるものや、高熱湯を吹きあげる間歇泉などが見られる。

アイルランドは周圍に丘陵をめぐらし、内部に沼澤地の多い低地がひろがつてゐる。

イギリス諸島はすべて北緯五十度以北にあるにもかかはらず、メキシコ灣流の影響を受けて、氣候は極めて溫和で、海洋性の特色を示してゐる。夏は涼しく、冬の寒さも緯度の割合には遙かに凌ぎ易い。一般に雨量が豊かで、溫度の高いことは、紡績業には好都合であるが、濃霧が發生し易く、ロンドンの市中ではしばしば交通を妨げるほどである。

文化 住民の大部はチャーチ頓族のアングロサクソン人で、概ね新教を信じ、教育が普及し、常識に富んでゐる。原住民のケルト族は、ウェールズの山地やアイルランドに多く、舊教を信じ、ケルト語を用ひてゐる。

グレートブリテンと北アイルランドは、聯合して立憲君主國の英本國をつくつてゐる。北部をのぞいたア

英本國は實に世界に分占する二つの一角を占めてゐる。自治領となつてゐる。

英の國は廣く世界を占有する多くの自治領々その他領土を合はせて大英帝國を組織してゐる。隨つてそれらの各領土と本國との通商のため、海運は著しい發達を示してゐる。

英本國工業

ンドは農牧を主とする國である。鑛産物には石炭の產が多く、ベンニン山地の南部、ウェーブス南部及びスコットランドの中央低地などに主な炭田がある。しかも豊富な鐵礦產地が、炭田に近いところに分布してゐることは、工業の發達を促すに好條件となつた。

綿工業は最も重要な地位を占め、ベンニン山地西側のランカシャー地方がその中心で、マン彻スターを代表とする工業都市が分布する。原料の綿は米國やエジプトから輸入する。これに對し毛織物は、ベンニン市を介して、人口八百萬を越える大ロンドンができるがつた。港の設備や由緒のある建物など、さすがに大國の首府にふさはしいものがある。

テムズの上流にあるオックスフォードは、ロンドン北方のケンブリッジと共に有名な大學都市である。マンチエスター、シェフィールド、リーズ、バーミンガム等他の工業都市を含む主要工業地域を後背地にもつリバプールは、ロンドンに次ぐ大貿易港で、殊に對米貿易が盛んである。

スコットランドでは中央低地に石炭と鐵の產出が多く、クライド川の流域には工業地帶が發達し、その中心グラスゴーはこの國第二の大都市である。その東方のエジンバラは、昔のスコットランド王國の古都であり、學術の地としてもあらはれてゐる。

北アイルランドの中心はベルファストで、エコレ國の首府はダブリンである。

水産業は北海沿岸に盛んで、ドッガーバンクの漁場では、鯨・鱈・鮭等の漁獲が多く、東岸には多くの漁港が分布する。

中心である。又バーミンガム附近一帯の盛大な鐵工業や、グラスゴー・ニューカッスルをはじめ、所々の港で行なはれる造船業など、いづれもこの國の主な工業である。

英本國では住民の四割餘が鐵工業に從事し、農業者は一割にも達せず、都市人口が八割を占めてゐる。隨つて農業は振るはず、一年の收穫は僅かに三箇月の食糧を自給し得るに過ぎない。

處誌 テームズ川下流にまたがる首府ロンドンは、古い起原をもつ都市で、大英帝國の政治、經濟、交通の中心として、又、世界の大貿易港として繁榮してゐる。市街は河岸を中心區として四方にひろがり、接續するブランス

自然 中央よりやゝ南部にオーベルニュ高原があり、その東側はローヌ川の谷に向かつて、急に降下してゐる。ローヌの谷を越えたイタリヤとイスラの國境には、アルプスの山岳地が連なり、中にヨーロッパ第一の高峰モンブラン(四八一〇メートル)がそびえてゐる。又南境には嶮しいビレネト山脈が一文字に横たはり、イベリヤ半島との著しい境界をなしてゐる。

オーベルニュ高原は北西にのびて、ノルマンジー、

ブルターニュ兩半島の丘陵性山地をつくり、その間にセーヌ川流域のパリー盆地や、ロアール川及びガロンヌ川の流域にわたる低い丘陵地や平地がある。パリー盆地周邊の臺地がオギリス海峡にのぞむ海岸には崖が長く續き、ブルターニュ半島には細長い潜入が多い。

國の大部分は海洋性の溫和な氣候であるが、地中海沿岸は溫暖で乾燥してゐる。

**文化** 住民はラテン民族のフランス人で、フランス語は發音が滑らかで、言葉も豊富であり、國際的に外交語としてよく用ひられる。文學及び美術は著しく發達し、科學の方面にも獨創的な人が出てゐる。

**農業** は極めて盛んで、土地の七割以上が農耕及び牧畜に利用され、農業國の特色をよく示してゐる。小麥の收穫が最も多く、又葡萄の栽培が廣く各地で行なはれ、葡萄酒の產額は世界第一である。半島部の海岸と地中海沿岸では漁業が盛んである。

牧牛は濕潤な北部の地方で行なはれ、バタ・チーズの生産も多い。農牧の盛んなこの國は食料品に於いて、元來自給自足が可能である。

重工業の發達は比較的新しく、ローレンの鐵鍛を用ひ、炭田の多し北東部で盛んに行なはれる。又諸種の織物業が昔から發達し、殊にローヌ河谷の綿織物はあらはれてゐる。

地中海の要地として商工業が榮え、又美術工藝品にすぐれてゐる。

ルア・ブルはパリの門戸に當り、英・米との取引が盛んである。ガロンヌ下流のボルドーは葡萄酒の輸出港として名高い。ローヌ川の急流にのぞむリヨンは、綿織物業の中心地である。

地中海沿岸のマルセイユはこの國第一の貿易港である。その東方に當るリビエラの海岸地方は有名な避寒地で、カシヌ・ニース等の保養都市がある。

モナコ・リビエラ海岸にあり、一小獨立王國をなしてゐる。

#### (五) 南部ヨーロッパ

イベリヤ半島 内部には廣い高原が横たはり、北東には高峻なピレネー山脈があつて、半島部を區ぎり、又、南にはジエラネバダ山脈があつて、その一端は半島最南の突出部をなし、狭いジブラルタル海峡をへだてゐる。

この國はヨーロッパの権要な位置を占めてゐる。鐵道網は密に發達し、國際的幹線も多く、パリーはこれら鐵道の著しく集中するところとなつてゐる。河川の交通も便利で、主な川は互に運河で連絡されてゐる。

處誌 北東部のアルサス・ローレンの地方には、鐵鍛及び石炭・加里鹽が多く、工業の發達に大きな役割をもつてゐる。セーヌ流域の低地はパリー盆地で、その東部のシサンバニュ地方では、丘陵の斜面に葡萄栽培が盛んで、良質の葡萄酒を產する。いはゆるシャンパン酒はこの地方の名産である。

セーヌ川にまたがる首府パリーは、古い歴史をもつてゐる。地盤の人口は約三百萬に及んでゐた。市街は壯麗で、名高い建築物や古蹟に富み、りつばな並木をもつて街路が放射状に走り、そこには趣味の高い公園や廣場が配置されて、都市美の世界的範囲を示してゐる。

北西部の沿岸地方は雨が多く、海洋性の氣候を示してゐる。地中海沿岸は夏暑く乾燥し、冬暖かい地中海性氣候の特色を呈する。内陸の高原は著しく乾燥し、しかも寒暑の差の甚だしい大陸性氣候で、所々に草原があり、半沙漠のところさへ見られる。

住民はラテン系統であるが、容貌には特徴があつて、眼も毛髪も殆ど黒い。衣服には裝飾が多く、夕暮の散策を樂しむのは、南國らしい風習である。文化が早く開けたところとして、古い建築や古美術には優秀なものがあるが、近代的施設には缺けるところが少くない。

住民の多くは農業に從事し、溫暖な海岸地帶や河岸の低地では、灌漑によつて農業が發達し、小麥・玉蜀黍・米等を產する。北西部の海岸地方には牧牛が行なはれ、良質のチーズを產する。高原では廣く羊や山羊

の牧畜が行なはれる。オリーブは一般に岩石の多い傾

斜地に植えられ、オレンジは海岸地方に多い。葡萄の

栽培は各地で營まれ、葡萄酒はオリーブ油及びコルク  
かしばから取れるコルクと共に、主な輸出品となつて  
ゐる。

この半島は礦物資源に富み、北部に鐵、南部に銅・  
水銀・鉛等が多い。しかし資本及び技術に乏しく、石  
炭の不足、交通の不便などが手傳つて工業は振るは  
ず、鐵鍊その他は多く鑄石のまゝ輸出される。

マドリードはイスパニヤの首府で、高原の中央に位  
し、交通の要地に當つてゐる。ペルセロナはこの國第  
一の貿易港で、附近には水力發電所が分布し、工業も  
盛んである。

ボルトガルの首府リスボンは天然の良港で、風景の  
美しいところである。

イタリヤ 北にアルプスの天險を負ひ、南の方地中

北部のボーカ川流域にあるロンバルジャ平野は、この  
國の重要な農業地である。小麥・玉蜀黍・馬鈴薯・甜

菜・米等を產し、又養蠶も行なはれる。  
鏡産物中、水銀や硫黃は世界でも一、二を争ふ產額  
があり、又良質の大理石を產するが、石炭・鐵・石油  
等の重要な鏡物は乏しい。

近年アルプス地方の豊富な水力を利用して、ミラ  
ノ・トリノ等、北部の諸都市を中心にして、織維工業のは  
か、いろいろの工業が興つた。

この國はラテン族と舊教の本源地で、かつてヨー  
ロッパ文化の中心となしたところである。住民は美  
術・音樂に長じ、熱情的である。毛髪と眼は黒味を帶  
びてゐる。人口増加が著しく、人口も甚だ密で、國外  
に出稼・移住するものが多く、在外イタリヤ人は約九  
百萬に及んでゐる。

今次の大戰に慘敗したため、資源に恵まれないこの

海へ長く突出した半島部と、附近の島々とから成り立  
つである。

アルプスの西端から起るアベニン山脈は、半島を縱  
に通つてシシリト島に及び、更にその續きは北アフリ  
カのアトラス山脈となつてゐる。この山脈に沿つて火  
山帶が通り、その中に有名なベスピヤス・エトナをは  
じめ、多くの火山がある。イタリヤは世界でも火山や  
地震の多い國である。

半島部はよく地中海性氣候の特色を示し、青い空、  
強い日光に輝ぐ南歐の明かるさに満ちてゐるが、夏期  
の乾燥が甚だしい上に、森林の濫伐や牧畜の結果とし  
て、岩石の露出したところが多い。乾燥した石灰岩の  
山地では、オリーブ樹が栽培され、温暖な海岸地方に  
は、レモン・いちじく等の果樹園が多い。葡萄は國內  
各地に栽培され、葡萄酒の產額はフランスに次いでゐ  
る。

國としては、國勢の恢復に多大の困難を伴ひであら  
う。

首府ローマは半島の中央に位し、昔の大ローマ帝國  
の首府であつたところで、當時をしのばせる壯大な遺  
蹟に富んでゐる。又市内にはローマ法王廳のあるバチ  
カン市國がある。ベスピヤスの噴煙を仰ぐナボリ灣頭  
のナボリは、貿易港であり、しかも風光の地として知  
られてゐる。ゼノアは北部平野の門戸をなし、この國  
第一の貿易港である。ベニスは古來水の都と呼ばれ、  
昔榮えた港である。

バルカン半島 地中海と黒海の間にある大きな半島  
で、アジャとヨーロッパとが相迫つてゐる地域に當つ  
てゐる。人口増加が著しく、人口も甚だ密で、國外  
に出稼・移住するものが多く、在外イタリヤ人は約九  
百萬に及んでゐる。

今次の大戰に慘敗したため、資源に恵まれないこの

ある。北東部にはカルバチャ山脈から續くトランシルベニヤアルブスが大屈曲をなし、ドナウ川を越えて更に東にのびてバルカン山脈となる。ドナウ川の流域には、この半島に於ける主な平野が開けてゐる。半島の南部には断層によつて生じた切れくの山地と、その間に散在する盆地があつて、地形が複雑である。又海岸線も極めて複雑で、到るところに灣や半島があり、無数の島々によつてちりばめられたエーラ海は、多島海の名にふさはしく、陥没による結果であることを示してゐる。

西部及び南部の海岸地域は、イタリヤ半島と同じく地中海性氣候の特色をよくあらはしてゐる。樹木が少く、オリーブの栽培が山腹の急斜面に行なはれる。内陸は大陸性をおび、高所には雨量が豊富で、森林が繁茂してゐるが、黒海の沿岸には草地が多い。

古來、多くの民族が來往した地域で、且つ地形が複雑で、産業が振るはない。

ギリシャ 半島の南部と附近の島々から成り、盆地と海岸の低地では農業が行なはれ、煙草・乾葡萄・オリーブ油等を産する。首府アテネは四千年來の古都で、アクロポリスその他の遺蹟は、往時の繁榮を物語つてゐる。北部のサロニカは良港である。

### ヨーロッパトルコ 地中海から黒海に通する水路の

要衝に當り、住民にはトルコ人のほか、ギリシャ人が多い。狭いボスボロス海峡は、沈水した谷の跡を示すもので、この海峡にのぞむイスタンブル（コンスタンチノープル）は水陸交通の要地である。この地はかつて東ローマ帝國の首府として榮えたところで、又トルコのものと首府である。

ブルガリヤの首府ソフィヤは、山間盆地の中心で、バルカン地方の幹線鐵道に沿つてゐる。

ペニヤアルブスが大屈曲をなし、ドナウ川を越えて更に東にのびてバルカン山脈となる。ドナウ川の流域には、この半島に於ける主な平野が開けてゐる。半島の南部には断層によつて生じた切れくの山地と、その間に散在する盆地があつて、地形が複雑である。又海岸線も極めて複雑で、到るところに湾や半島があり、無数の島々によつてちりばめられたエーラ海は、多島海の名にふさはしく、陥没による結果であることを示してゐる。

西部及び南部の海岸地域は、イタリヤ半島と同じく地中海性氣候の特色をよくあらはしてゐる。樹木が少く、オリーブの栽培が山腹の急斜面に行なはれる。内陸は大陸性をおび、高所には雨量が豊富で、森林が繁茂してゐるが、黒海の沿岸には草地が多い。

古來、多くの民族が來往した地域で、且つ地形が複雑で、産業が振るはない。

ギリシャ 半島の南部と附近の島々から成り、盆地と海岸の低地では農業が行なはれ、煙草・乾葡萄・オリーブ油等を産する。首府アテネは四千年來の古都で、アクロポリスその他の遺蹟は、往時の繁榮を物語つてゐる。北部のサロニカは良港である。

### ヨーロッパトルコ 地中海から黒海に通する水路の

要衝に當り、住民にはトルコ人のほか、ギリシャ人が多い。狭いボスボロス海峡は、沈水した谷の跡を示すもので、この海峡にのぞむイスタンブル（コンスタンチノープル）は水陸交通の要地である。この地はかつて東ローマ帝國の首府として榮えたところで、又トルコのものと首府である。

ブルガリヤの首府ソフィヤは、山間盆地の中心で、バルカン地方の幹線鐵道に沿つてゐる。

雜なことから、諸種の民族が割據し、しばしくそれらの利害が相反し、ために歐洲の騒亂をひき起したことか少ない。住民の大部分は農民で、ドナウ川流域の平野では小麥及び玉蜀黍の產額が多い。

山間部では盆地や川の沿岸に小規模の農耕が営まれるほか、傾斜地や荒地を利用して羊・山羊の飼養が廣く行なはれてゐる。南部や附近的島々では、葡萄・オーリーブ・オレンジ等の果物がよく實り、又各地に烟草を產する。

ロシヤを除けば、石油に恵まれないヨーロッパに於いて、ルーマニヤの油田は特に重要である。しかしその他には著しい鐵產物がなく、殊に石炭・鐵に乏しいことは、バルカン地方に工業の發達しない大きな原因の一つとなつてゐる。

ユーロスラビヤ 南スラブの諸族が合體して建てた國で、首府のベルグラードはドナウの河港であり、又

ルーマニヤ 住民はラテノ民族のルーマニヤ人で、

言語はイタリヤ語に類似する。トランシルバニヤアルブスの山麓地方には、歐洲に稀な油田がある。ドナウ川下流一帶の廣い平野は、地味が肥沃で、小麥・玉蜀黍等の產が多い。

首府ブカレストは南部平野の中心で、穀物の集散地である。

高等科地理  
文部省

第二學年用  
下

Approved by Ministry  
of Education  
(Date July 23, 1946)

昭和二十一年七月二十三日 講刻印刷  
昭和二十一年九月五日 講刻發行  
昭和二十一年七月二十二日(總督監查官)

高等科地理上 第二學年用(第二分冊)

定價金四拾五錢

著作權所有 著作者 文 部 省  
發行者 日本書籍株式會社

東京都小石川區久堅町一〇八番地  
總刻發行者 日本書籍株式會社

代表者 大橋進一

東京都小石川區久堅町一〇八番地  
印刷所 日本書籍株式會社

發行所 日本書籍株式會社

## 目録

一 地球の表面	一
二 陸 地	一
(一) 地 壤	一
(二) 高 山	二
(三) 平 原	二
(四) 野 川	四
(五) 沼 泽	五
(六) 海 岸	六
三 海 洋	七
(一) 海底の形状	七
(二) 海水の性質	八
(三) 海水の運動	八
四 気 候	九
(一) 気候區	九
(二) 温	一〇
(三) 風	一〇
(四) 雨	一一
五 生 物	一二
(一) 植 物	一二
(二) 動 物	一二
(三) わが國の生物	一二
六 產 業	一三
七 交 通	一四
(一) 陸上交通	一四
(二) 水上交通	一四
(三) 空中交通	一四
八 住 民	一五
(一) 人 口	一五
(二) 宗 教	一五
(三) 語 言	一五
九 聚 落	一六
(一) 村 落	一六
(二) 都 市	一六
十 政 治	一七
(一) 國家の位置	一七
(二) 國土の境界	一七
(三) 國家の組織	一七
(四) 國家の大小	一七

### 一 地球の表面

人類の住む地球の表面は陸地と海洋とから成り、更に大氣がこれを包んでゐる。これらは地域を異にするに従つて、その性質がちがひ、人類はその影響を受け、地域的に多種多様の生活を營んでゐる。

陸地は人類の定住するところであるが、地球表面の約三割に過ぎず、残り約七割は海洋である。

陸地には大陸と島との別がある。大陸は普通、アジヤ・ヨーロッパ・アフリカ・北アメリカ・南アメリカ、オーストラリアの六つに分たれてゐる。面積はアジヤ大陸が最も大きく、全陸地の約三割を占め、オーストラリアが最も小さく、アジヤの五分の一にも達しない。

大陸の分布は甚だ不平均で、その大部分は北半球にあるが、水陸の分布から、地表面を、陸地の最も多い

ができる。島は大小さまざまのものがあつて、その數も甚だ多く、大きいものは大陸の周囲に多いが、小さいものは大洋中にも多數散らばつてゐる。

海洋はその大きさによつて、大洋と海とに分けられるが、陸地と異つて互に相通じてゐる。大洋は普通、太平洋・大西洋・印度洋の三大洋に區別されてゐる。

面積は太平洋が最も大きく、全大洋の約半分を占め、大西洋と印度洋とは大差がない。海もその數が多く、大陸と大陸、大陸と島、島と島などの間にあり、地中海・日本海・瀬戸内海を、それべくその例として挙げることができる。

陸地の表面は凹凸が多く、垂直的には山地・高原・平野等に、水平的には半島や岬などに分たれるが、そ

### 二 陸 地

こには河川が流れ、湖沼が散在するなど、複雑な形をなしてゐる。この複雑な陸地の形は地球の内部的な作用と、水・大気・生物等による外部的な作用とによつてつくられたものである。さうしてこれらの地形がそれぐ、人間の生活に及す影響は極めて廣く且つ大きいのである。

## (一) 山 地

山地は陸地の高まつた部分で、地表面の傾斜が一般に大きいが、その規模の小さな丘陵は概ね傾斜が緩やかである。山地は普通、孤立せず、細長く連なつて山脈をなしてゐる。

山地には一般に森林が茂り、林業が行なはれるが、耕作に不便で、交通も妨げられるので、礦山・温泉等のある特別なところを除くと、多くの人が住むのには困難である。

山地には一般に森林が茂り、林業が行なはれるが、耕作に不便で、交通も妨げられるので、礦山・温泉等のある特別なところを除くと、多くの人が住むのには困難である。

火山はその活動に當つて種々の物質を噴出して、しばし附近の耕地や聚落を埋没するばかりでなく、人畜の死傷を生ずる場合も少くないが、又一方、その優美な山容は、各地の風景に特有の美觀を與へてゐる。

わが國の國立公園の多くが、火山を中心とする地域であるのはこのためである。

火山は一般に脈状に分布してゐて、火山帶をつくつてゐる。これら火山帶は、概ね大洋の周邊に沿つて、太平洋を繞る火山帶は特に有名である。わが國が火山に富むのは、その一部に當つてゐるからである。

わが國の主な火山帶には、日本列島の主軸に沿つて走る、千島・那須・鳥海・白山・阿蘇・霧島等の火山

北米のロッキー、南米のアンデスなどは、世界的の大山脈で、數千メートルの高峯が連なつてゐて、高峰雄大な山容をあらはしてゐる。廣く世界の大山脈を見る所、大陸の内部には比較的少く、大陸の周邊部又はその前面に横たはる島にあるものが多い。

わが國は「山の國」と呼ばれるほど山地の多い國である。

これはアジャ大陸東方海上に横たはる大山脈地帯の一部に當つてゐるからである。しかも國土の狭い割合に高峻な山脈が多い。奥羽・赤石・木曾・飛驒・紀伊・中國等の諸山脈、及び四國山脈・九州山脈・蝦夷山脈等は、それくわが國の主な島々に於ける代表的山脈である。しかし、これらの山脈中にある高峯も、三千メートル以上に達するものはごく限られてゐて、赤石・飛驒の兩山脈に見られるのみである。

火山は特殊な成因に基づく山で、地殻の弱いところ富士火山帶の主峯である富士山は、三七七六メートルの高さをもつ、わが國第一の高峯であるのみでなく、その秀麗なすがたをもつて世界的に知られた名山である。

地熱によつて温められた地下水が地上に湧き出るのが温泉で、主に火山活動の餘勢に伴なふものである。随つて温泉は火山地方に多く分布してゐる。わが國が温泉に富むのも亦これがためである。温泉は皆多少の礦物質を含んでゐるもので、その泉質によつて硫酸泉・鹽類泉・炭酸泉・酸性泉・單純泉等の區別がある。これらは各成分によつて、療養上種々の效能がある。

地震も地殻の弱いところに發生するものであるから、地震帶も亦、概ね火山帶に沿つて分布する。世界で最も著名的な地震帶は、太平洋の周邊と、地中海から印度方面に至る地方とである。わが國をしばし大地